

SVG 資料第 6 回目 (その 2)

CSS 入門

メディア専門ユニット I(SVG)

2016/5/30

- ▶ カスケーディングスタイルシート (CSS) は HTML 文書の要素の表示方法を指定
- ▶ CSS は JavaScript から制御可能

(配布資料付録 47 ページ)

- ▶ 属性 `id` の属性値の前に `#` をつけるとその要素を選択
- ▶ 属性 `class` の属性値の前に `.` をつけるとその要素を選択
- ▶ $E\ F$ は E の下の F
- ▶ $E > F$ は E の直下の F

CSS について

第 6 回目 (その 2)

セレクタ	解説
*	任意
E	タイプが E
E[foo]	タイプが E で属性 "foo" を持つ
E[foo="bar"]	タイプが E で属性 "foo" の属性値が "bar"
E[foo~="bar"]	タイプが E で属性 "foo" の属性値が空白で区切られた一つが "bar"
E:link, E:visited	まだ訪れたことがない (:link) か訪れたことがある (visited) ハイパーリンクのアンカーである要素
E:active, E:hover, E:focus	ユーザーに操作されている状態中
E:enabled, E:disabled	使用可能 (:enable) か使用不可のユーザーインターフェイス
E:checked	チェックされているユーザーインターフェイス
E.warning	属性 class が "warning" である要素
E#myid	属性 id の属性値が "myid"
E F	要素 E の子孫である要素 F
E > F	要素 E の子である要素 F
E + F	要素 E の直後にある要素 F
E ~ F	要素 E の直前にある要素 F

メディア専門ユニット I(SVG)

CSS とは

やってみよう

CSS セレクタを用いて要素を得る

第 6 回目 (その 2)

メディア専門ユニット I (SVG)

CSS とは

やってみよう

`querySelector()` と `querySelectorAll()` は引数に CSS セレクタを与えて要素のリストを得ることが可能

- ▶ ラジオボタンでチェックしているものを探す
ラジオボタンのグループは属性 `name` (属性名を `foo`) が共通なのでセレクタは
`"input[name=\"foo\"] :checked"`

属性 `id`、属性 `name`、属性 `class` の属性値はセレクタを使わなくても直接選択するメソッドがある。

次のメソッドを `querySelector()` または `querySelectorAll()` で書き直してみよう

- ▶ `getElementsByTagName("foo")`
- ▶ `getElementById("foo")`
- ▶ `getElementsByClassName("foo")`
- ▶ `getElementsByName("foo")`

